

病院建設運営委員会 会議資料

《報告事項》

- | | | | |
|---------------------------------------|----------|-----|-----|
| 1. 南和広域医療企業団 稼働状況（平成28年4～9月） | 【資料1-1】 | ・・・ | 1 |
| 2. 月間延べ患者数・1日あたり患者数の推移 | 【資料1-2】 | ・・・ | 2 |
| 3. 地域別患者数（H28上半期4月～9月） 南奈良総合医療センター | 【資料1-3①】 | ・・・ | 3 |
| 4. 地域別患者数（H28上半期4月～9月） 吉野病院 | 【資料1-3②】 | ・・・ | 4 |
| 5. 救急車搬送患者数について（4月～9月） | 【資料1-4】 | ・・・ | 5 |
| 6. 南和広域医療企業団 平成28年度下期アクションプラン(案) [概要] | 【資料2】 | ・・・ | 6 |
| 平成28年度下期アクションプラン(案) [本編] | ・・・ | ・・・ | 別冊 |
| 7. 五條病院開院に向けた準備状況について | 【資料3-1】 | ・・・ | 1 1 |
| 8. 五條病院の入院機能について | 【資料3-2】 | ・・・ | 1 2 |

《その他》

はぴねすだより第4号

健康フェスティバル2016

南和広域医療企業団
平成28年10月28日

南和広域医療企業団 稼働状況 (平成28年4~9月)

資料1-1

【南奈良総合医療センター】

232床

	のべ患者数	平均病床稼働率	1日あたり患者数	診療収入 単位:千円	診療単価 単位:円	備考	<参考> 計画想定		
							病床稼働率	1日あたり患者数	診療単価 単位:円
入院	4月	2,959	42.5%	98.6	151,777	51,293	80%	184.0	40,835
	5月	5,962	82.9%	192.3	266,436	44,689			
	6月	5,787	83.1%	192.9	278,201	48,073			
	7月	6,695	93.1%	216.0	316,838	47,325			
	8月	6,913	96.1%	223.0	325,201	47,042			
	9月	6,488	93.2%	216.3	289,686	44,649			
	計	34,804	—	—	1,628,139	—			
外来	4月	7,313	—	384.9	77,342	10,576	—	700.0	11,500
	5月	9,636	—	507.2	104,013	10,794			
	6月	11,001	—	500.0	113,706	10,336			
	7月	10,388	—	519.4	113,046	10,882			
	8月	11,713	—	532.4	123,111	10,511			
	9月	11,116	—	555.8	115,289	10,371			
	計	61,167	—	—	646,507	—			
合計	4月	—	—	—	229,119	—	28年度 医業収入予算 4,880,000 千円		
	5月	—	—	—	370,449	—			
	6月	—	—	—	391,907	—			
	7月	—	—	—	429,884	—			
	8月	—	—	—	448,312	—			
	9月	—	—	—	404,975	—			
計	—	—	—	2,274,646	—	※予算達成率(9月現在) 46.6%			

救急搬送受け入れ件数

4月	368件	(1日平均: 12.3件)
5月	412件	(1日平均: 13.3件)
6月	330件	(1日平均: 11.0件)
7月	411件	(1日平均: 13.3件)
8月	389件	(1日平均: 12.5件)
9月	346件	(1日平均: 11.5件)

【吉野病院】

96床

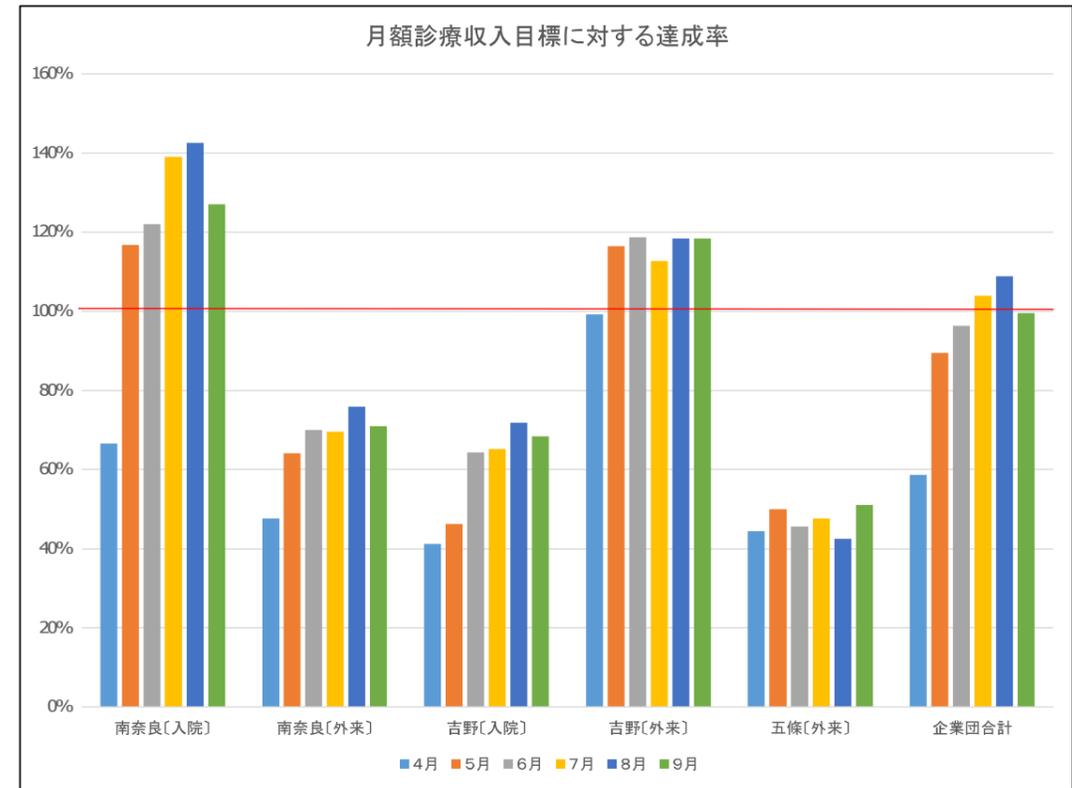
	のべ患者数	平均病床稼働率	1日あたり患者数	診療収入 単位:千円	診療単価 単位:円	備考	<参考> 計画想定		
							病床稼働率	1日あたり患者数	診療単価 単位:円
入院	4月	1,319	45.8%	44.0	26,652	20,206	91.2%	88.0	24,288
	5月	1,507	50.6%	48.6	29,960	19,880			
	6月	1,958	66.0%	65.3	41,639	21,266			
	7月	2,085	70.1%	67.3	42,182	20,231			
	8月	2,269	76.2%	73.2	46,470	20,480			
	9月	2,160	75.0%	72.0	44,264	20,493			
	計	11,298	—	—	231,167	—			
外来	4月	1,843	—	92.2	28,104	15,249	—	107.0	13,000
	5月	2,180	—	114.7	32,970	15,124			
	6月	2,155	—	98.0	33,611	15,597			
	7月	2,076	—	103.8	31,906	15,369			
	8月	2,252	—	102.4	33,530	14,889			
	9月	2,119	—	106.0	33,513	15,815			
	計	12,625	—	—	193,634	—			
合計	4月	—	—	—	54,756	—	28年度 医業収入予算 1,160,000 千円		
	5月	—	—	—	62,930	—			
	6月	—	—	—	75,249	—			
	7月	—	—	—	74,088	—			
	8月	—	—	—	80,000	—			
	9月	—	—	—	77,777	—			
計	—	—	—	424,800	—	※予算達成率(9月現在) 36.6%			

【五條診療所】

	のべ患者数	平均病床稼働率	1日あたり患者数	診療収入 単位:千円	診療単価 単位:円	備考	<参考> 計画想定		
							病床稼働率	1日あたり患者数	診療単価 単位:円
外来	4月	245	—	12.9	1,375	5,611	—	33.3	4,600
	5月	306	—	16.1	1,546	5,053			
	6月	279	—	12.7	1,412	5,060			
	7月	290	—	14.5	1,471	5,072			
	8月	250	—	11.4	1,315	5,261			
	9月	309	—	15.5	1,577	5,105			
	計	1,679	—	—	8,696	—			

【診療収入額 総計】 単位:千円

月	診療収入	月	診療収入	月	診療収入	累計額(千円)
4月	285,250	7月	505,443	10月	—	28年度予算 6,094,000
5月	434,925	8月	529,627	11月	—	
6月	468,568	9月	484,329	12月	—	
※予算達成率 44.4%						



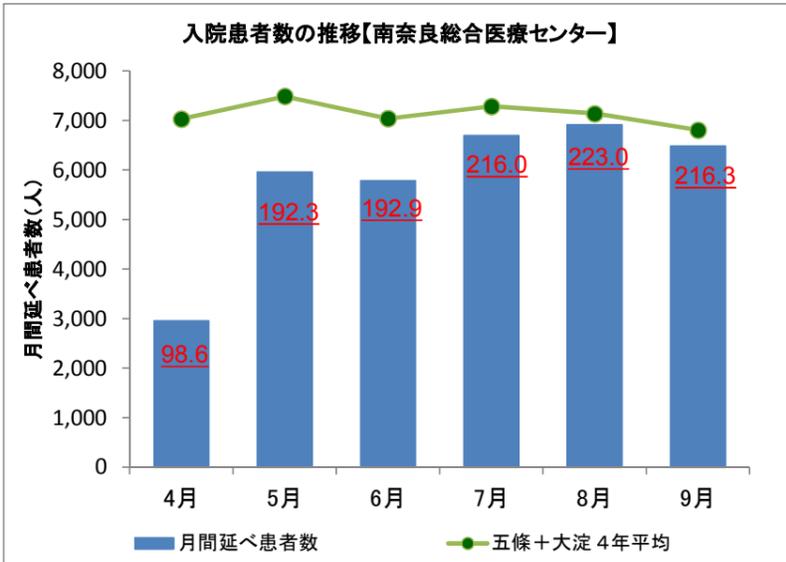
<参考> 27年度実績

	入院			外来			救急		
	運用病床数	のべ患者数 月平均	年間 年間	病床稼働率 (年平均)	患者数 月平均	年間	1日平均	搬送受入数 年間	1日平均
五條病院	160	3,459	41,508	71.1%	5,620	67,438	278	1,393	3.8
大淀病院	144	2,618	31,414	59.2%	7,201	86,407	324	540	1.5
吉野病院	99	1,892	22,707	62.8%	3,022	36,262	149	153	0.4
合計	403	7,969	95,629	—	15,842	190,107	751	2,086	5.7

月間延べ患者数・1日あたり患者数の推移

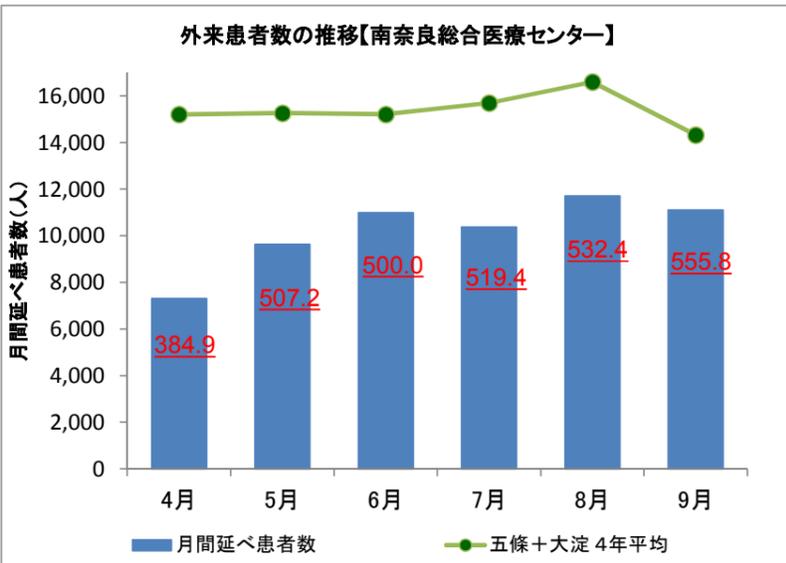
1. 南奈良総合医療センター

1-1.入院患者数



南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間延べ患者数	2,959	5,962	5,787	6,695	6,913	6,488
1日あたり患者数	98.6	192.3	192.9	216.0	223.0	216.3
五條+大淀 4年平均	7,031	7,489	7,042	7,285	7,140	6,807

1-2.外来患者数

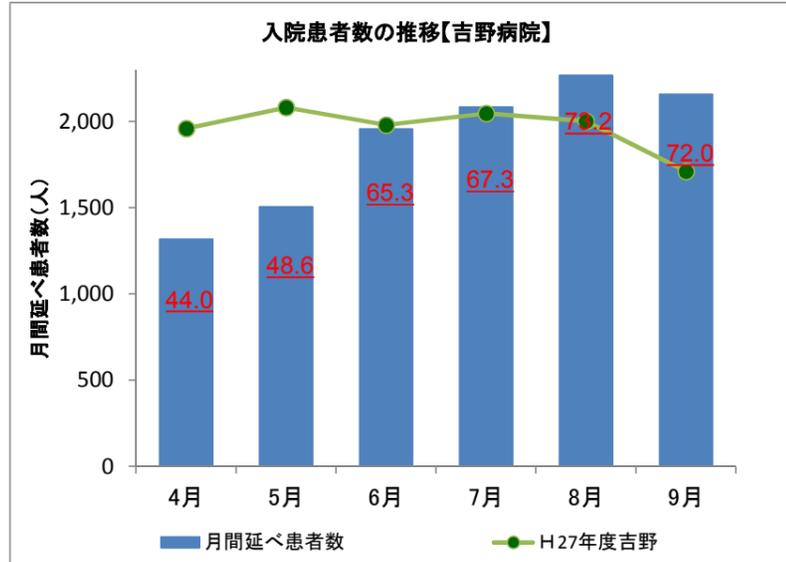


<2. 外来>

南奈良総合医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間延べ患者数	7,313	9,636	11,001	10,388	11,713	11,116
1日あたり患者数	384.9	507.2	500.0	519.4	532.4	555.8
五條+大淀 4年平均	15,206	15,263	15,212	15,698	16,604	14,330

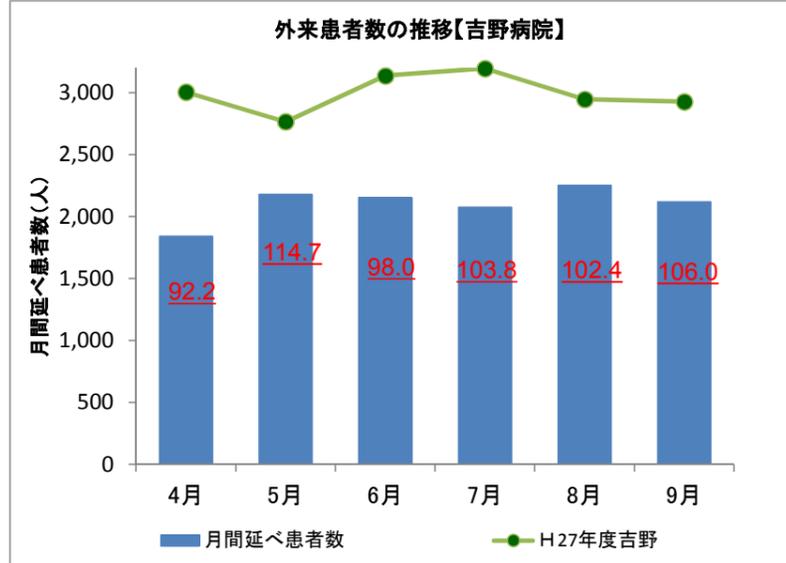
2. 吉野病院

2-1.入院患者数



吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間延べ患者数	1,319	1,507	1,958	2,085	2,269	2,160
1日あたり患者数	44.0	48.6	65.3	67.3	73.2	72.0
H27年度吉野	1,961	2,083	1,981	2,048	2,003	1,712

2-2.外来患者数

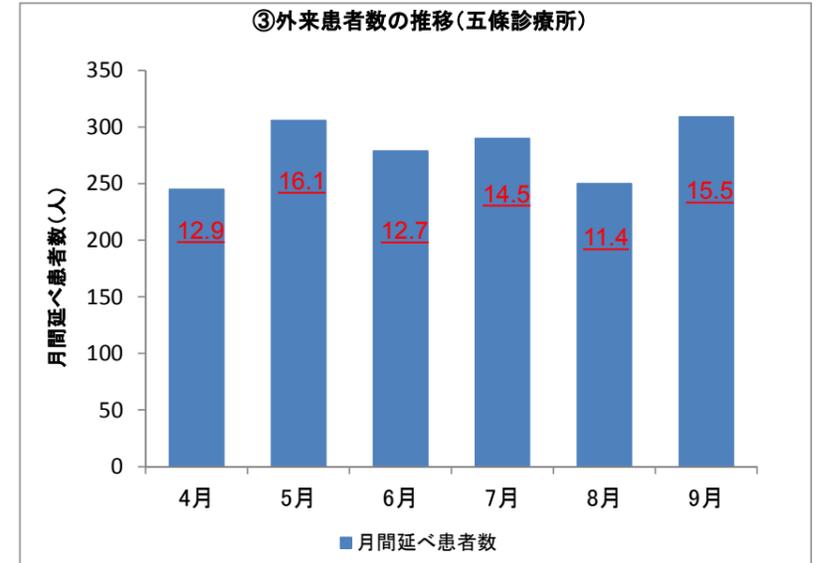


<2. 外来>

吉野病院	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間延べ患者数	1,843	2,180	2,155	2,076	2,252	2,119
1日あたり患者数	92.2	114.7	98.0	103.8	102.4	106.0
H27年度吉野	3,006	2,767	3,138	3,196	2,948	2,928

3. 五條診療所

3-2.外来患者数



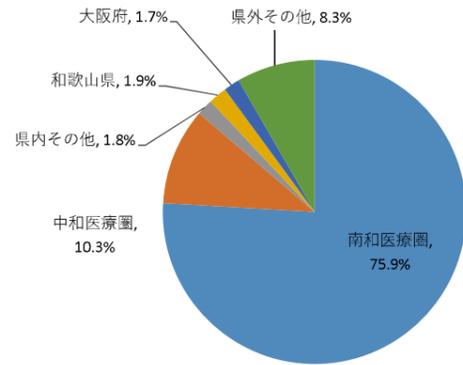
五條診療所	4月	5月	6月	7月	8月	9月
月間延べ患者数	245	306	279	290	250	309
1日あたり患者数	12.9	16.1	12.7	14.5	11.4	15.5

地域別患者数 (H28上半期4月～9月) 南奈良総合医療センター

資料1-3①

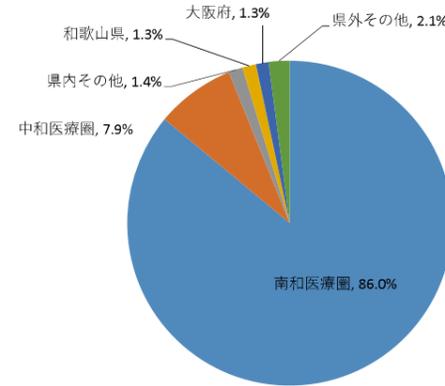
※患者数は外来・入院とも実患者数で表示しています。

入院患者割合 医療圏内／医療圏外



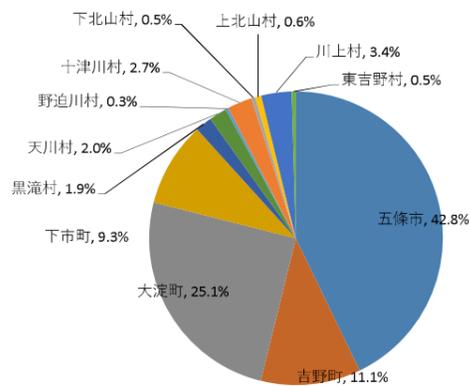
県内			県外		
南和医療圏	中和医療圏	県内その他	和歌山県	大阪府	県外その他
1,728	235	40	44	39	190
2,003			273		
2,276					

外来患者割合 医療圏内／医療圏外



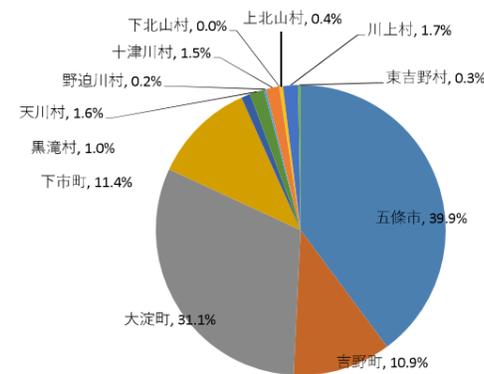
県内			県外		
南和医療圏	中和医療圏	県内その他	和歌山県	大阪府	県外その他
13,778	1,262	226	214	205	330
15,266			749		
16,015					

入院患者割合 南和医療圏内 市町村別



南和医療圏											
五條市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村	野迫川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村
740	191	433	161	32	34	5	47	8	11	58	8
1,728											

外来患者割合 南和医療圏内 市町村別



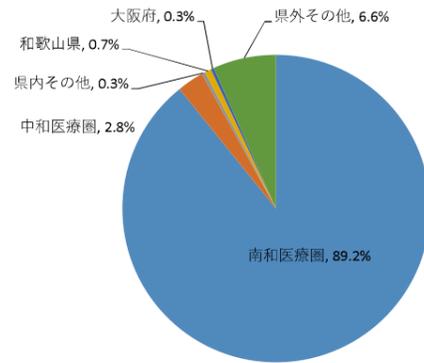
南和医療圏											
五條市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村	野迫川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村
5,491	1,503	4,291	1,571	138	221	32	203	5	54	231	38
13,778											

地域別患者数 (H28上半期4月～9月) 吉野病院

資料1-3②

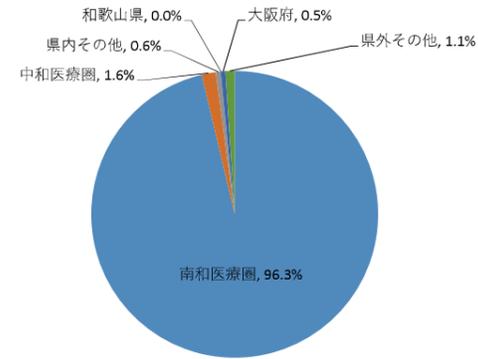
※患者数は外来・入院とも実患者数で表示しています。

入院患者割合 医療圏内／医療圏外



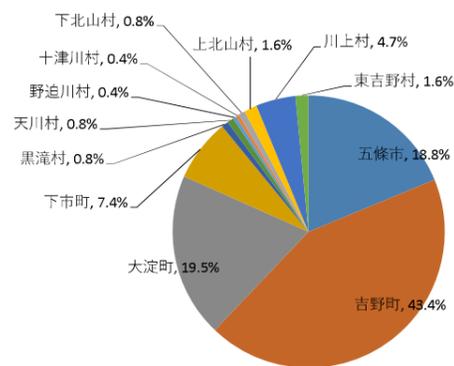
県内			県外		
南和医療圏	中和医療圏	県内その他	和歌山県	大阪府	県外その他
256	8	1	2	1	19
265			22		
287					

外来患者割合 医療圏内／医療圏外



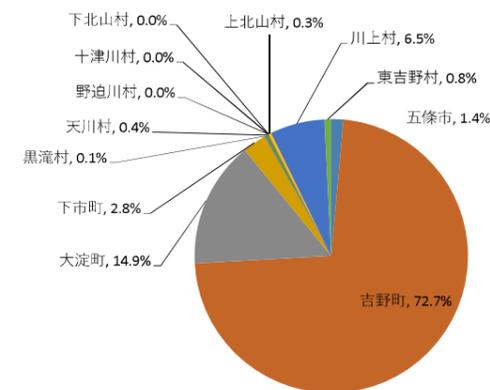
県内			県外		
南和医療圏	中和医療圏	県内その他	和歌山県	大阪府	県外その他
2,337	38	14	1	11	26
2,389			38		
2,427					

入院患者割合 南和医療圏内 市町村別



南和医療圏											
五條市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村	野迫川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村
48件	111件	50件	19件	2件	2件	1件	1件	2件	4件	12件	4件
256件											

外来患者割合 南和医療圏内 市町村別



南和医療圏											
五條市	吉野町	大淀町	下市町	黒滝村	天川村	野迫川村	十津川村	下北山村	上北山村	川上村	東吉野村
33	1700	349	65	3	10	0	0	1	6	151	19
2,337											

救急車搬送患者数について（４月～９月）

資料1-4

(奈良県広域消防組合調べ)

		県広域消防組合 総搬送数(A)							受入れ医療機関										吉野病院		橋本市民					その他																																			
									南奈良総合医療センター							県立医科大学附属病院																																													
		受入れ数(B)							収容率 (B/A)	構成比	救命センター					E R 救 急					外 来																																								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計			4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計																							
奈良県広域消防組合	中吉野	大淀署	104	109	88	104	106	101	612	67	64	55	66	75	55	382	62.4%	17.3%	4	8	2		4	8	26	2						2	18	11	10	11	7	13	70	4							4	1	1	1				3	11	23	21	26	19	25	125
		下市署	35	35	32	35	39	37	213	25	31	23	26	32	32	169	79.3%	7.6%					1		1							0	2		1	3		1	7		0	1						1	7	4	8	6	6	4	35						
		黒滝分署	8	5	3	15	19	7	57	7	4	3	13	15	5	47	82.5%	2.1%							0							0									0	1	1		2	4	2	10													
		天川分署	8	8	7	14	24	11	72	7	7	7	8	20	10	59	81.9%	2.7%					1		1					1	1	2					1				1	1	1		4	2	1	9													
	五條	五條署	146	138	135	157	163	162	901	99	110	97	113	104	108	631	70.0%	28.6%		1	1	3	4	4	13			1	1			2	9	4	5	4	5	10	37		0	18	11	6	10	20	18	83	20	12	25	26	30	22	135						
		大塔分署	4	6	2	8	9	8	37	1	2	1	5	5	8	22	59.5%	1.0%							0							0									0	3	4	1	3	4		15													
		十津川分署	14	17	9	19	25	15	99		5	4	7	6	7	29	29.3%	1.3%						1	1							0							1		1	14	12	5	12	19	6	68													
		西吉野出張所	10	12	16	16	11	15	80	8	11	13	15	7	13	67	83.8%	3.0%						1	1					1	1	3				1	1	1			0	2	1	2	1	3		9													
	吉野	吉野署	61	68	58	81	79	52	399	43	46	36	51	58	31	265	66.4%	12.0%	1		2	4	1	2	10			1				1	4	4	4	6	3	5	26	3						1		1	10	18	15	20	17	13	93						
		北山分署	5	8	6	8	12	4	43	2	2	3	2	3	1	13	30.2%	0.6%						1	1							1		1					1		0	3	5	3	6	8	1	26													
野迫川分署		1	3	2	9	2	2	19	1	1	1	4	0	1	8	42.1%	0.4%							0							0					1	3	1	1	6		1	1	2	1		5														
南和地域 計		396	409	358	466	489	414	2,532	260	283	243	310	325	271	1,692	66.8%	76.6%	5	9	5	7	11	17	54	0	2	2	1	1	0	6	33	20	21	25	17	31	147	7	0						7	19	13	6	15	22	21	96	72	82	81	108	113	74		530
中和	御所署	136	142	131	139	151	140	839	38	51	37	41	25	24	216	25.7%	9.8%	7	1	5	4	2	1	20	7	6	4	3	7	3	30	11	12	14	17	4	12	70								0	1	1	1				3	73	71	71	73	112	100	500	
	高市署	86	85	66	77	66	85	465	11	20	8	7	6	12	64	13.8%	2.9%	2	1	2	3	1	5	14	5	2	3		2	3	15	18	16	6	15	8	13	76								0	50	46	47	52	49	52	296								
	その他	2,788	2,889	2,872	3,286	3,171	2,802	17,808	49	47	37	45	29	31	238	1.3%	10.8%	44	57	57	79	61	57	355	66	55	62	61	35	48	327	206	222	210	224	197	186	1,245								0	2,430	2,508	2,506	2,877	2,849	2,480	15,650								
県消防 合計		3,406	3,525	3,427	3,968	3,877	3,441	21,644	358	401	325	403	385	338	2,210	10.2%	100.0%	58	68	69	93	75	80	443	78	65	71	65	45	54	378	268	270	251	281	226	242	1,538	7	0						7	19	14	6	16	23	21	99	2,625	2,707	2,705	3,110	3,123	2,706		16,976
他消防(県外等)									10	11	5	8	4	8	46																0																														
総 計									368	412	330	411	389	346	2,256																0																														

アクションプラン

「地域の皆さんへの充実した医療の提供」と「企業団としての安定した経営を継続」するための「あるべき姿を展望した行動計画」

めざす目標

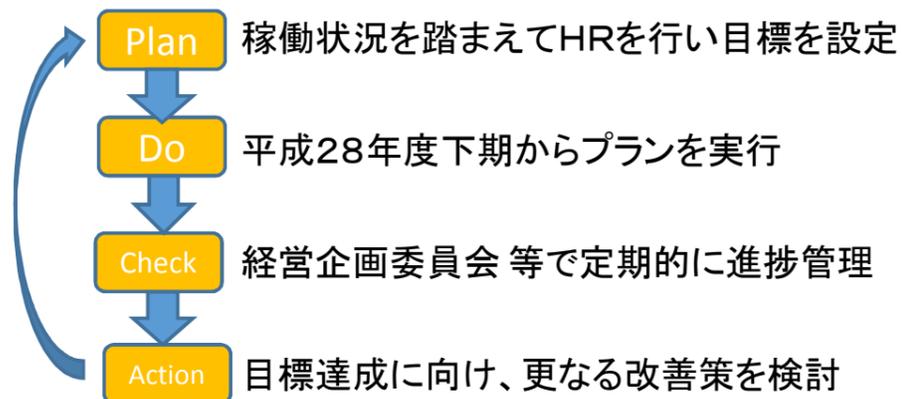
企業団の「基本理念」、「病院理念」等の実現

【基本理念】 南和の医療は、南和で守る

【病院理念】 まごころをこめて、
良質で最適な医療を提供します
～笑顔と感謝にあふれる病院をめざす～

※病院「基本目標」、看護専門学校「教育目標」については、本編を参照してください

PDCAサイクルで進捗管理



アクションプラン ～取り組みの視点～

1. 専門性を活かした質の高い医療の提供
 - 診療方針、対象となる患者、主たる診療領域の柱の明確化
 - ＜入院＞
 - ① 高いレベルの病床稼働率の維持、在院日数の短縮
 - ② 入院治療の多い疾病への対応充実
 - ③ 疾病治療、手術件数等の目標設定 など
 - ＜外来＞
 - ① 診療科ごとの患者数の目標設定
 - ② 受診患者の多い疾病への対応充実
 - ③ 積極的な救急搬送患者の受入の継続
 - ④ 院外処方の促進(吉野病院) など
 - ＜中央診療部門＞
 - ① 検査機器(エコー装置、検体検査等)を最大限に活用して診療を支援
 - ② 大型医療機器(CT・MRI等)を最大限に活用して診療を支援
 - ③ 薬剤師による服薬指導の充実
 - ④ リハビリに係るケースカンファレンスを充実し在宅復帰を支援
 - ⑤ 医療安全意識の向上に向けた院内研修の実施 など
5. 健康増進を図る情報発信の充実
 - ① 健康フェスティバル2016の開催 (11月20日(日)・会場:南奈良総合医療センター)
 - ② 地域住民を対象に健康講座等を実施
 - ③ 地域の医療者等を対象にした研修会等の充実
 - ④ 論文発表、学会発表等への積極的な取り組み など

2. 診療科,部門を越えたチーム医療の推進
 - ① センター機能の充実
 - 救急センター、消化器病センター
 - リウマチ・運動器疾患センター
 - 糖尿病センター、腎、尿路疾患センター
 - 在宅医療支援センター
 - へき地医療支援センター、健診センター
 - ② チーム医療の推進
 - 医療安全、感染対策
 - 栄養サポートチーム など
3. 地域医療への対応強化
 - ① 地域の医療機関等との関係強化
 - ② へき地診療所の支援、連携
 - ③ 在宅医療、訪問診療の取り組み推進
 - ④ 五條病院開院(平成29年4月)に向けた準備 など
4. 災害拠点病院としての機能強化
 - ① DMATメンバーを中心とした災害対応体制の構築
 - ② ドクターヘリの運航開始の準備 など
6. 地域医療を守る人材の育成
 - ① 看護専門学校での看護人材の育成
 - ② スタッフ教育の充実によるスキルアップ
 - ・救急診療教育、救急隊への教育
 - ・看護記録作成マニュアル等の作成
 - ・キャリア開発、接遇研修
 - ・医学生、初期臨床研修医、地域医療研修医、専攻医の受入 など

1. 南奈良総合医療センター 診療科

①内科

- ・内科系疾患の患者に幅広く対応
- ・多くの疾患を抱えた患者を一般内科として診療

②総合内科

- ・専門診療科が特定しにくい複数の臓器にまたがる疾患に対応
- ・在宅やへき地を基盤とした患者へのシームレスな診療
- ・物忘れ外来(週1回午後)の診療体制の構築
- ・災害医療への対応に備える

③糖尿病内科

- ・糖尿病専門医を中心に血糖コントロールが困難な症例や合併症の進んだ症例の治療
- ・糖尿病教育入院、糖尿病性腎症教育入院、フットケア外来の実施

④内分泌・代謝内科

- ・脳下垂体、甲状腺、副腎、性腺などの内分泌臓器の異常が原因の病気全般の診断、治療
- ・泌尿器科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、産婦人科等との診療連携

⑤感染症内科

- ・感染症に関する最新情報を病院の内外に提供
- ・感染対策チームの活動充実
- ・合併症のある結核患者を想定した入院環境の整備

⑥循環器内科

- ・狭心症、心筋梗塞など動脈硬化症疾患の迅速な治療
- ・遠隔モニタリング機能付きペースメーカー植え込み実施

⑦呼吸器内科

- ・肺炎、肺がんなど専門性の高い呼吸器疾患に対応
- ・慢性閉塞性肺疾患(COPD)、睡眠時無呼吸症候群の治療

⑧消化器内科

- ・緊急の処置が必要な消化器病患者の受入
- ・内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)関連手技、消化管腫瘍に対する粘膜下層剥離術(ESD)、ポリープ切除術の増加

⑨神経内科

- ・神経難病(パーキンソン病、ALS等)患者のレスパイト入院、長期脳波モニタリング(てんかん)の診断目的入院を実施

⑩小児科

- ・呼吸器疾患(肺炎、喘息)、消化器疾患(胃腸炎)、てんかんなど急性、慢性の小児疾患に対応
- ・安定した小児救急の維持に貢献

⑪精神科

- ・うつ病、不安障害、統合失調症、不眠症、認知症の外来診療を実施

⑫外科(消化器・総合)

- ・日本における標準治療、最新治療の提供、腹腔鏡などによる低侵襲な手術の実施
- ・胃、大腸、肝臓、膵臓、胆道、乳のがん治療、
- ・鼠径ヘルニア、肛門疾患、消化管穿孔、虫垂炎、腸閉塞の治療

⑬脳神経外科

- ・脳血管障害、脳の腫瘍性病変、頭蓋内血腫、脊椎脊髄神経疾患、慢性神経疾患の手術治療
- ・回復期リハビリテーション病棟を活用し、急性期の在院日数を短縮
- ・脳ドックの実施、定期的な画像検査の啓蒙
- ・チーム医療により、血栓溶解療法(t-PA)、カテーテルによる血管内手術(IVR)、など脳卒中に対する急性期血行再建を継続実施

⑭整形外科

- ・整形外科領域の幅広い疾患に対して専門的医療を提供
- ・変形性関節症、骨折、靭帯損傷、半月板損傷、関節リウマチ、腰椎間板ヘルニア、骨軟部腫瘍の治療
- ・在院日数の短縮を図り、病床確保、入院単価の向上をめざす

⑮救急科

- ・継続して南和地域を中心とした救急車受入要請を応受
- ・重症度により優先順位を決定し、適正な診療を実施
- ・OJTによる救急診療教育の継続

⑯皮膚科

- ・専門的な検査、治療が必要な皮膚疾患患者の受入
- ・アレルギー性皮膚疾患、皮膚感染症、膠原病の皮膚症状、難治性皮膚創傷(褥瘡など)の診療

⑰泌尿器科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・経尿道的膀胱悪性手術(TUB-BT)、経尿道的前立腺手術(TUL)の件数増加
- ・経尿路的レーザー尿路結石除去術、体外衝撃波結石破碎装置(ESWL)の導入による患者数増

⑱眼科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・白内障、緑内障、網膜剥離の治療
- ・水晶体再建術(白内障)の実施

診療科の続き

⑱耳鼻咽喉科

- ・専門診療科としての診断、治療
- ・鼻閉に対する低侵襲手術の実施
- ・頭頸部領域をはじめ、アレルギー、めまい、顔面麻痺、いびき、声とことば、飲み込み異常の治療
- ・慢性糸球体腎炎(IgA腎症)による扁桃腺炎患者の受入

⑳産婦人科

- ・子宮筋腫、卵巣嚢腫、子宮内膜症などの良性疾患や、婦人科特有の感染症、更年期障害の治療
- ・骨盤臓器脱(性器脱)に対する専門的な治療
- ・子宮がん検診の実施
- ・腹腔鏡手術、腔式手術などの低侵襲治療
- ・奈良医大産科と連携した妊婦健診の推進

㉑歯科口腔外科

- ・一般歯科医院で対応困難な疾患の治療
- ・口腔がん、上顎、下顎、顔面の外傷、骨の疾患、顎関節症などの治療

㉒病理診断科

- ・よりよい診断の提供
- ・地域がん診療病院の機能強化
- ・術中迅速検査の実施を図り、30分以内報告をめざす
- ・病理解剖の実施

㉓麻酔科

- ・硬膜下鎮痛法、静脈内鎮痛法を積極的に取り入れた術後疼痛管理の実施
- ・全身麻酔の割合(現状8~9割)を増やし、患者の安全性を確保

㉔放射線科

- ・CT検査、MRI検査ともに、4~6月実績(CT:1075件、MRI:349件)の5%増をめざす
- ・他診療科との連携を図りながら、低侵襲で安全な治療方法として、画像下治療(IVR)を行う

2. 南奈良総合医療センター 医療センター

①救急センター

- ・強い情熱と意欲で、内科系外科系を問わず救急患者に対応
- ・ICT技術を活用し正確な診断、治療を行う体制の構築
- ・ドクターヘリ導入の準備を進める

③リウマチ・運動器疾患センター

- ・整形外科疾患とリウマチ性疾患の総合的な診療、リハビリテーションを含めた運動器疾患全般の治療
- ・併存疾患の管理、合併症の予防など細やかなケアの実施

⑥在宅医療支援センター

- ・住み慣れた自宅で自分らしく療養生活を送れるようにサポートを充実
- ・地域における医療福祉との連携

②消化器病センター

- ・消化器内科、消化器外科、放射線科で適時に症例検討会を実施
- ・最先端の手術室、内視鏡、画像診断、IVRを有機的に組み合わせて消化器疾患を診断、治療

④糖尿病センター

- ・他職種で構成する糖尿病チームで、糖尿病合併症(腎症、網膜症、神経障害、心臓脳血管疾患、足病変、歯周病)のトータルケアを実施

⑦へき地医療支援センター

- ・へき地においても、あたたかい医療、質の高い医療を提供
- ・へき地医療を支えるシステムの維持、発展に努力

⑤腎・尿路疾患センター

- ・腎不全の予防から人工透析までの総合診療の実施
- ・がんを中心とした泌尿器科領域、合併症を有する腎不全患者の診療

⑧健診センター

- ・がん、生活習慣病などの早期発見
- ・生活習慣改善のアフターケアを医師、看護師、薬剤師、管理栄養士がチームとしての的確な管理指導

3. 南奈良総合医療センター 部門

①看護部

[理念]地域の人々に信頼される責任と思いやりのある看護を提供します

- ・看護専門外来(フットケア外来など)等の件数増加
- ・医療安全を第1として現状の稼働状況を維持
- ・看護師の質向上、救急看護の充実、安全文化の醸成

②薬剤部

[理念]患者さまのために何ができるかを常に考え、寄り添い、行動できる薬剤師になります

- ・薬剤管理指導業務の充実、病棟薬剤業務実施によるDPC機能評価係数加算の取得
- ・後発医薬品の採用促進、採用医薬品の見直し

③臨床検査部

・24時間365日、専門性の高い良質な臨床検査の提供

- ・正確で迅速な検査結果報告
- ・他職種と連携を図り医療支援
- ・検査業務の安全性・正確性の向上
- ・検査の質的向上を図り高い専門性を維持
- ・患者目線で心の通った接遇・マナーの実践
- ・効率的で透明な検査室運営

④放射線部

・地域の皆様に質の高い検査・治療を安心して受けていただく

- ・予約枠の調整を行い検査効率を向上し、緊急検査にも迅速に対応
- ・大型機器の共同利用を促進し、地域の診療所医師からの検査紹介患者を増加

⑤リハビリテーション部

・発症早期よりリハビリテーションを開始し生活能力の低下を予防

- ・入院中に低下した生活能力の改善を早期から目指す
- ・地域連携を重視し社会復帰を支援
- ・高次脳機能障害に対してもアプローチ
- ・急性期治療が終了した後、必要に応じて回復期リハビリテーション病棟でリハビリテーションを提供

⑥医療技術センター

・紹介患者の入院治療、結核症例の隔離透析病床の運用

- ・医療スタッフに対して、安全かつ有効的な人工呼吸器管理を実践するための技術提供
- ・医療機器保守、使用中ラウンド点検の充実を図り医療安全に寄与

⑦栄養部

・病態に応じた栄養療法の実施し、治療効果を高める

- ・早期に栄養指導やNST介入の必要性の判断を行う
- ・安心・安全な患者給食の提供を行うとともに患者満足度を高める

⑧地域医療連携室

・地域の医療機関との交流や病診連携、医科歯科連携研修会等の企画により連携を推進

- ・在宅医療支援センターの活動を推進
- ・南奈良総合医療センター、吉野病院、五條病院の効率的でシームレスな連携の構築

⑨医療安全推進室

・ヒヤリハット情報の収集分析により、医療事故の予防、再発防止に努める

- ・医療相談室への意見や要望の分析し、対応策を検討
- ・医療安全の推進に関わる広報、研修の企画、運営

⑩感染対策室

・各種感染症の発止状況把握と対策の検討、実施

- ・感染対策マニュアルの作成、改訂
- ・院内ラウンドによる院内感染対策実施状況の確認、是正
- ・職員への感染対策教育

⑪教育研修センター

・医師・看護師・看護学生だけでなく、薬剤師、検査技師、放射線技師、理学療法士などの専門職は勿論、事務職も含めた全スタッフが、研修し生涯学び続けることのできる職場をめざす

- ・メディカル・スキルアップ室を整備し、Off the jobにおいてはICLSをはじめとするシミュレーション教育を積極的に展開し、全職員がBLSを実践

⑫栄養サポートチーム (NST)

・急性期から慢性期まで、患者の病態に応じた栄養療法を実施し治療効果を高める

- ・早期介入により予後の改善、入院期間の短縮に貢献する。
- ・褥瘡・摂食嚥下チームと連携を取り治療効果を上げる。
- ・定期的に勉強会を行い院内教育に努める。

5. 吉野病院 診療科

①内科

- ・内科では多くの疾患を抱えた患者を総合的に一般内科として診療
- ・南奈良総合医療センターからの転院依頼を積極的に受入れることで病床稼働率80%以上をめざす
- ・患者待ち時間短縮のため、内科3診(予約外・時間外)設置を検討

②整形外科

- ・外来では、骨折、腰痛、膝関節痛、骨粗鬆症等の保存的治療(手術以外の治療全般)、軽症(入院を要しない程度)の外傷に対応
- ・地域包括ケア病床(15床)の施設基準取得し、うち5床程度は整形外科疾患患者の入院を想定

6. 吉野病院 部門

①看護部

〔理念〕

地域の人々に信頼される責任と思いやりのある看護

- ・病床稼働率の向上(一般病棟80%、医療療養病床90%)
- ・訪問診療(同行)、訪問看護1人あたり4件/日を目指
- ・感染対策、医療安全の推進
- ・学習と成長の視点
- ・看護スタッフがサポートし合える業務体制の検討や病棟業務の役割分担と業務改善

②薬剤部 (企業団一体運営)

- ・後発医薬品の採用促進、採用医薬品の見直し
- ・薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務実施に向けた検討
- ・院外処方箋の発行促進

③臨床検査部

- ・南奈良総合医療センターへの検体搬送数を増加し試薬費を削減
- ・検査報告時間の短縮
- ・技師のスキルアップ
- ・医療事故(神経損傷・転倒)防止

④放射線部 (企業団一体運営)

- ・一般撮影、CT検査の撮影時間短縮と件数増加
- ・16列マルチスライスCT装置導入による診療収入増加と検査時間短縮、患者の被曝低減、診断能向上

⑤リハビリテーション部 (企業団一体運営)

- ・地域包括ケア病床の新規施設基準取得
- ・6月からSTによる摂食訓練開始

7. 看護専門学校

○南奈良看護専門学校

〔教育理念〕

- ①奈良県南和地域をはじめ広く地域社会に暮らす人々の、急性期から療養期医療・在宅医療・へき地医療を支えることができる質の高い看護職者を育成
 - ②生命の尊重と人間の尊厳を基盤とした豊かな人間性を養い、専門的知識・基本的看護技術を身につけ、地域社会に暮らす人々の保健・医療・福祉の向上に貢献し、人々に信頼される専門職業人を育成
- ・看護師国家試験合格率100%
 - ・入学志願者の増加
 - ・県内就職率90%以上

8. 五條病院開院に向けた準備

○五條病院

- ・大規模な改修工事を経て、平成29年4月にリニューアルオープン
- ・外来診療は、内科・整形外科の2科診療体制
- ・入院診療は、経営的な視点から、1病棟(45床)で開院し、患者の状況を見極めたうえで、2病棟目の開院を行うこととする
- ・開院時に運用する1病棟は、「地域包括ケア病棟」を優先する
- ・建物や機器などハード面の整備と併せて、開院に向けた人材の確保、運用・システム構築などソフト面の準備を進める

【契約内容】

- ◆契約相手 : 村本・田原特定建設工事共同企業体
- ◆契約日 : 平成28年3月2日
- ◆工事工期 : 平成28年3月2日から平成29年2月28日まで
- ◆請負金額 : 1,936,440,000円(税込み)

【改修工事概要】

- ・ B棟及び機械棟を耐震改修
- ・ 玄関棟の増築及び外来診療部門の改修
- ・ 空調設備、給湯設備、ポンプ等の機器を省エネ機器へ改修
- ・ 既存不適格部分の改修 → エレベータ等を改修
- ・ 不要建物の解体 → A棟、看護専門学校、学生寮



現況【平成28年9月1日 撮影】

平成27年度		平成28年度												平成29年度	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4月	
契約締結		<div style="text-align: center;"> → 工事期間12ヵ月 → </div>												開院準備	開院
		本館A・看護学校・学生寮 解体工事						内部解体 改修工事						医療機器・電子カルテ・備品等接続工事	
								駐車場・外構工事						3/19(日) 竣工式典	4/1(土) 開設
												竣工引渡		4/3(月) 外来開始	

五條病院の入院機能について

資料3-2

【 従来の説明 】

- 1 当初の整備計画において、五條病院は、「療養病床90床（45床×2）」を想定。
- 2 平成26年度の診療報酬改定により、在宅復帰を推進するために、「地域包括ケア病棟」の制度が創設され、吉野病院において、1病棟を「地域包括ケア病棟」に変更。
- 3 五條病院については、①新体制の実績 及び ②五條地域の医療需要 を踏まえて決定する

【 検討結果 】

- 1 療養型の医療ニーズはあまり多くなく、一方、回復期の医療ニーズが高い
 - ・吉野病院の療養病床の新規入院実績（4月～9月）は、17人（月平均 約3人）
 - ・南奈良総合医療センターから療養型病院（吉野病院を含む）へ転院した患者実績（4月～9月）は、42人（月平均 約7人）
 - ・地域医療構想においても、療養型の病床は充足しており、回復期が不足している

⇒ 【方針1】 1病棟を「地域包括ケア病棟」とする。
- 2 五條病院を開院した場合、稼働率のアップには、相当の期間を要すると考えられる
 - ・南奈良総合医療センターから五條病院への転院患者は、月11人+a と見込まれる（吉野病院への転院患者のうち、五條・内吉野方面の患者数からの推測による）
 - ・1病棟（45床）について、稼働率85%、平均在院日数24日を想定した場合、1ヶ月当たり約49人の新規入院患者が必要となる。
 （試算） $45床 \times 85\% \times 365日 = 13,961床$ （年間の延べ稼働病床）
 $13,961床 \div 24日（平均在院日数） = 582人$ （年間の新入院患者数）
 $582人 \div 12ヶ月 \div 49人$

⇒ 【方針2】 経営的な視点から、1病棟（45床）で開院し、患者の状況を見極めたうえで、2病棟目の開院を行うこととする
- 3 企業団全体としての最優先課題は、南奈良総合医療センターにおける救急患者受入を継続するための転院先の確保

⇒ 【方針3】 開院する1病棟は、「地域包括ケア病棟」を優先する

【 方針 】

- 1 吉野病院と同様、1病棟を「地域包括ケア病棟」とする。
- 2 経営的な視点（患者数の見込み）から、平成29年4月開院時は、1病棟の開院とする。
- 3 企業団全体としての必要度から、開院する1病棟は「地域包括ケア病棟」とする
- 4 患者数の状況を踏まえ、療養病床を追加開院する

分析1 南奈良総合医療センターの実績

（1）稼働状況（4月～9月）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
病床数	平均稼働率	42.5%	82.9%	83.1%	93.1%	96.1%	93.2%
232床	平均患者数(日)	99人	192人	193人	216人	223人	216人

分析 稼働率が高くなっており、救急受入のための空床確保（退院調整）が課題。

（2）転院先病院の状況（4月～9月）

病 院 名	区 分	転 院 者 数	
			うち 療養型
吉野病院（吉野町）	一般（包括）・療養 （うち五條・内吉野方面）	132 (57)	13
秋津鴻池病院（御所市）	精神・回復・療養・包括	19	
南和病院（大淀町）	療養	15	15
潮田病院（吉野町）	療養	7	7
奈良医大附属病院（橿原市）	一般	5	
平成まほろば病院（橿原市）	回復	7	
高田市立病院（大和高田市）	一般・包括	4	
※済生会御所病院（御所市）	一般・包括	4	
奈良県総合リハビリセンター（田原本）	回復	4	
※紀和病院（橋本市）	療養・回復・緩和	4	1
※山本病院（橋本市）	一般・回復	6	
辻村病院（宇陀市）	療養	2	2
関屋病院（香芝市）	療養	2	2
その他病院		23	2
（ 合 計 ）		234(10.5%)	42(1.9%)
（参考）退院患者数（4月～9月）		2,238人	

分析 退院患者のうち、約10%（ $\div 234 / 2,238$ ）が病院への転院。
 そのうち、吉野病院への転院が、56.4%（ $\div 132 / 234$ ）
 転院先として、一般病床あるいは回復期病床が多い。（退院患者の約82%が該当）

※ 五條病院への転院が見込まれる患者数は、67人+a（11人程度/月）
 吉野病院へ転院した患者のうち、五條・内吉野方面の患者 57人
 紀和病院（橋本市）へ転院した患者 4人
 山本病院（橋本市）へ転院した患者 6人

分析2 吉野病院の実績

(1) 稼働状況(4月～9月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般(包括)病棟 (50床)	平均稼働率	36.0%	43.7%	70.1%	69.9%	76.8%	67.3%
	平均患者数(日)	18人	22人	35人	35人	38人	34人
療養病棟 (46床)	平均稼働率	56.4%	58.1%	65.6%	70.2%	75.6%	83.4%
	平均患者数(日)	26人	27人	30人	32人	35人	38人

分析 療養病棟に比べ、一般(包括)病棟の稼働率のアップが大きい

(2) 新規入院患者の状況(4月～9月)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
南奈良総合 医療センター からの転院	一般(包括)病棟	3	17	23	34	23	19	119
	療養病棟		2	5		4	2	13
	計	3	19	28	34	27	21	132
その他の入院	一般(包括)病棟	20	21	25	22	25	23	136
	療養病棟	1	1	0	0	0	2	4
	計	21	22	25	22	25	25	140
合計		24	41	53	56	52	46	272
市町 村 別 内 訳	五條市	1	8	11	11	9	8	48
	野迫川村					1		1
	十津川村					1		1
	御所市			1	2	2		5
	橋本市			1	1			2
	(五條内吉野方面計)	(1)	(8)	(13)	(14)	(13)	(8)	(57)
	吉野町	13	19	28	20	24	16	120
	大淀町	4	9	7	10	8	10	48
	下市町	2	2	3	4	5	3	19
	黒滝村					1	1	2
	上北山村				2	1		3
	下北山村				2			2
	川上村	4	1	1	2		5	13
	東吉野村				2		1	3
その他		2	1			2	5	
(吉野方面ほか計)	(23)	(33)	(40)	(42)	(39)	(38)	(215)	

分析 新規入院患者の約49% (≒ 132/272) が南奈良総合医療センターからの転院患者
 新規入院患者の約21% (≒ 57/272) が五條・内吉野方面の患者
 新規入院患者の約94% (≒ 255/272) が一般(包括)病棟への入院

分析3 五條市民の受療動向

(1) 平成28年6月分 国保及び後期高齢者医療保険レセプトによる入院医療機関実績

病院名	区分	人数(構成比)
南奈良総合医療センター(大淀町)	一般・回復	157人(26.2%)
橋本市民病院(橋本市)	一般・包括	48人(8.0%)
紀和病院(橋本市)	療養・回復・緩和	46人(7.7%)
秋津鴻池病院(御所市)	精神・回復・療養・包括	39人(6.5%)
奈良医大附属病院(橿原市)	一般	38人(6.3%)
南和病院(大淀町)	一般・療養	37人(6.2%)
吉野病院(吉野町)	一般(包括)・療養	19人(3.2%)
済生会御所病院(御所市)	一般・包括	19人(3.2%)
山本病院(橋本市)	一般・回復期	13人(2.2%)
万葉クリニック(橿原市)	精神	12人(2.0%)
紀の郷病院(九度山町)	精神	10人(1.7%)
その他(県内)		100人(16.7%)
その他(県外)		62人(10.3%)
合計		600人(100.0%)
(医療圏別内訳)		
南和医療圏		222人(37.0%)
県内の他の医療圏		199人(33.2%)
県外		179人(29.8%)

分析 約70%が県内の医療機関に入院
 療養型の入院患者は、あまり多くないと見込まれる

分析4 奈良県地域医療構想(平成28年3月策定)との整合性

(1) 南和構想区域(=南和保健医療圏)の必要病床数

区分	慢性期(療養)病床	回復期病床
2025年度必要病床数(患者住所地)	203床	274床
既存の病床数(予定を含む)	202床 (吉野病院 46床 南和病院 96床 潮田病院 60床)	86床 (南奈良 36床 吉野病院 50床)

分析 慢性期(療養)病床については、必要病床をカバーするだけの既存病床がある
 一方、回復期については、不足が見込まれる